

「第6回 大田区ビジネスプランコンテスト」に協賛

2月20日（金）、当金庫が協賛している「第6回 大田区ビジネスプランコンテスト」の表彰式が、大田区産業プラザにて開催されました。

協賛先特別賞である『城南信用金庫賞』は、訪日外国人向け飲食店情報サービス「Tokyo Dinner Ticket for Travelers」を開発された播太樹様が受賞されました。当サービスは、WEB上で観光やビジネスで来日された外国人に飲食店の情報を提供し、日本滞在中の利便性向上を図るもので、東京五輪などを控えた観光業界で今後の活用が期待されます。



右：播太樹様

生田支店がリニューアルオープン!

2月23日（月）、新築建替工事を終了した生田支店がリニューアルオープンしました！

同支店は、屋上のソーラーパネルやLED照明など環境への配慮はもちろん、土地の歴史を感じさせるモチーフを採り入れた外観が特長です。店舗前の道路が絹や川崎特産の禅寺丸柿、黒川炭を江戸まで運ぶ「津久井道」と呼ばれていた由来から、店舗前面に「絹」のような柔らかな印象を創り出す特殊プリントガラスを使用し、壁面に禅寺丸柿をイメージした赤を配色して、街並みに彩りを添えています。

地域の皆様が気軽に立ち寄っておくつろぎいただけるよう、ロビーのソファ配置を工夫し、正面入り口付近に木陰やベンチも設置しています。



城南信用金庫の経営内容について（平成 27 年 2 月末）

1. 預金と貸出金について

	26年3月末	27年2月末	増加額（増加率）
預 金 残 高	3兆 4,512 億円	3兆 5,260 億円	748 億円（ 2.1%）
個人預金残高	3兆 279 億円	3兆 686 億円	407 億円（ 1.3%）
貸 出 金 残 高	1兆 9,351 億円	2兆 264 億円	912 億円（ 4.7%）

※預金残高には、譲渡性預金（26年3月末：71億円、27年2月末：67億円）を含んでいます。

2. 不良債権について

当金庫では、「自己査定に基づく分類貸出金」「金融再生法で定められた債権区分」「信用金庫法で定められたリスク管理債権」の3つの基準で不良債権を開示しています。

①自己査定に基づく分類貸出金

●債務者区分別貸出先数・貸出金残高

（金額単位：億円）

		先 数	金 額（構成比）
正 常 先	業況が良好で、財務内容にも問題のない先	49,592	15,925（ 78.6%）
要 注 意 先	今後の管理に注意を要する先	4,543	3,665（ 18.1%）
内 訳	A 貸出条件緩和債権がなく、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	4,519	3,633（ 17.9%）
	B 貸出条件緩和債権があり、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	15	11（ 0.1%）
	C 期限経過・延滞が1ヵ月以上3ヵ月未満の先、ならびに要管理先のうち、無保全額が多額で、将来においてリスクの発生する可能性が高く、個別に引当を行うことが望ましい先	9	21（ 0.1%）
破綻懸念先	事業は継続しているものの、今後、経営破綻に陥る可能性がある先	1,463	571（ 2.8%）
実質破綻先	実質的に経営破綻の状況に陥っている先	333	88（ 0.4%）
破 綻 先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先	69	11（ 0.1%）
国・地方公共団体（回収について危険性がなく、債務者区分を行っていません）		1	2（ 0.0%）
合 計		56,001	20,265（100.0%）

●分類貸出金

（金額単位：億円）

		金 額（構成比）	償却・引当 予 定 額	償却・引当後 無保全額（見込み）
I 分類	回収について問題のない貸出金	17,487（ 86.3%）	—	—
II 分類	回収について注意を要する貸出金	2,774（ 13.7%）	—	—
III 分類	回収について重大な懸念がある貸出金	1.6（ 0.0%）	1.6	0
IV 分類	回収不能と判定される貸出金	1.8（ 0.0%）	1.8	0
合 計		20,265（100.0%）	3.4	0

・III分類、IV分類の貸出金については、回収に取り組んでまいりますが、年度末までに回収ができない場合は、その100%を償却・引当処理する方針です。

②金融再生法で定められた債権区分

（金額単位：億円）

	金 額（構成比）	うち 無保全額	償却・引当 予 定 額	償却・引当後 無保全額（見込み）
正常債権	19,586（ 96.6%）	—	—	—
要管理債権	18（ 0.1%）	—	—	—
危険債権	572（ 2.8%）	1.6	1.6	0
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	101（ 0.5%）	1.8	1.8	0
合 計	20,278（100.0%）	3.5	3.5	0

・「危険債権」「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の無保全額については、回収に取り組んでまいりますが、年度末までに回収ができない場合は、その100%を償却・引当処理する方針です。

③信用金庫法で定められたリスク管理債権

(金額単位：億円)

	金額
リスク管理債権総額 (A)	338
破綻先債権額	11
延滞債権額	117
3ヵ月以上延滞債権額	0
貸出条件緩和債権額	208
うち担保・保証付き債権額(B)	286
リスク管理債権(C)=(A)-(B)	51
貸倒引当金残高(D)	61
貸倒引当金控除後のリスク管理債権(E)=(C)-(D)	△ 9

- ・担保・保証控除後の「リスク管理債権」、いわゆる無保全部分は 51 億円となっていますが、回収に鋭意取り組んでまいります。
- ・今年度に入って発生した不良債権に対する引当分等や、回収された引当金を加味すると、貸倒引当金残高はリスク管理債権 (C) を 9 億円上回る 61 億円となる見込みであり、高い健全性を示していると言えます。

3. 有価証券の状況

●売買目的有価証券、満期保有目的の債券

該当ありません。

●その他有価証券で時価のあるもの

(金額単位：百万円)

	帳簿価額	時 価	評価差額	過年度処理済額	今年度増減額
株 式	87	233	146	136	9
債券・その他	520,637	526,654	6,017	8,789	△ 2,772
合 計	520,725	526,888	6,163	8,925	△ 2,762

※評価差額の過年度処理済額は、税効果相当額を控除し、純資産の部にて処理が済んでいます。

●時価を把握することが困難な有価証券

その他有価証券（非上場株式） 226 百万円
 子会社・子法人等株式 30 百万円

4. 自己資本比率（平成 26 年 9 月末実績）

平成 26 年 9 月末の当金庫自己資本比率は 11.75% となり、国内基準である 4% の 2 倍以上であり、メガバンク等の海外業務を行う銀行の基準である 8% をも十分に上回っています。

自己資本の額（コア資本に係る基礎項目の額-コア資本に係る調整項目の額）	
1,828億円	
自己資本比率 =	× 100 = 11.75%
	1兆5,549億円
信用リスク・アセット+オペレーショナルリスク	

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

経済産業省シーズ発掘事業「シーズ個別相談会」 大学等の知財と中小企業の技術で新製品を開発!!

3月10日（火）、経済産業省シーズ発掘事業の一環として実施された「シーズ個別相談会」にて、当金庫のお取引先である株式会社三陽プレジジョンと日本大学がマッチングを行いました。

株式会社三陽プレジジョン（品川区西品川 1-10-2、<http://www.sanyoprecision.co.jp>）は、小島裕司社長のもとコラボレーション事業部（03-3491-2811）を置き、キッチン・雑貨・防犯・省エネなど多岐にわたるアイデア商品の企画・製造・販売を強みとしています。

今回の面談で、日本大学大学院理工学研究科で医療・福祉工学を専攻される青木和夫教授の「足の握力測定器」の特許をアイデアシーズとして、身体能力向上・高齢者の転倒防止といった健康・医療分野向け商品「ふんばり力チェッカー」の開発に、産学協働で取り組むこととなりました。

今後も、当金庫は産学官金連携をより一層深め、お客様の新たなビジネスチャンスに結びつく場をご提供してまいります。



公益財団法人 大田区産業振興協会 「下町ボブスレープロジェクト」に引続き協賛

2月20日（金）、当金庫は、“ものづくりの街”大田区の中小製造業の方々が結集し、世界に日本の誇る技術力をPRするために推進している「下町ボブスレープロジェクト」に引続き協賛し、公益財団法人大田区産業振興協会に対して100万円の寄付を行いました。

大田区中小企業の夢と希望を詰めこんだボブスレーは、オリンピックの大舞台をめざしてまだまだ全力疾走中です！



中：(公財)大田区産業振興協会の野田隆理事長
右：「下町ボブスレー」ネットワークプロジェクト推進委員会の舟久保利和委員長